

光が丘周辺地域小・中学校の学習環境のあり方について

近年の少子化の進行に伴う児童数の減少により、クラス替えができない1学年1学級の学年が発生し、過小規模校となることが予想されている光が丘周辺地域の小・中学校の学習環境のあり方について、令和6年教育委員会8月定例会において、次のとおり対応方針を決定しましたので、お知らせします。

1 対応方針

学校再編による学習環境の整備期間を考慮し、令和9年4月を目途に、並木小学校を弥栄小学校に再編する。

2 今後の進め方

再編に当たって生じる通学区域の変更や学習環境の変化による児童への影響などの諸課題について、保護者や地域の皆様からの意見を伺いながら、対応してまいります。

3 これまでの経過

保護者と地域の代表者で組織する「光が丘周辺地域小・中学校の学習環境のあり方検討協議会」（以下「検討協議会」という。）を9回開催するとともに、保護者への意見聴取や説明会を実施し、令和6年5月10日に検討協議会から教育委員会に検討結果の報告がありました。

報告の内容は、「相模原市立小中学校の望ましい学校規模のあり方に関する基本方針」及び「相模原市小中一貫教育基本方針」に合致していることから、報告に基づいた対応方針を決定しました。

お問合せ先
学務課
直通 042-769-9263